

## 第8回相談支援部会

日時	平成22年1月22日(金) 10:00~12:00
場所	障害者支援センター松が丘園
出欠	出席 9名・欠席 2名
議事	<p>1 ワーキンググループの報告及び協議、全体会へのまとめ</p> <p>(1) Aグループ「相談支援の手引き」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月19日に開催。27日の開催予定。</li> <li>・名称は、「相談支援の手引き」でなく「相談支援事業所のごあんない」(以下「ごあんない」)に変更する。</li> <li>・「ごあんない」は、当事者を対象。仕様は、A4、カラー、16頁。</li> <li>・相談支援事業所個々の紹介ページがあるが、シートを作成し、今年度中に事業所へ情報提供の依頼をする予定。</li> <li>・今後の予定は、当事者へのヒアリングを行うことと、実際の印刷・配布は7月を目標としたい。内容は、来年度に使用して検証するのがいいと思う。</li> <li>・予算に関しては課題。来年度に関しては、可能な範囲で協議会の予算で対応するが、これを継続的に使用することになった場合、周囲の反応をみるなどして、よければ増刷なども検討したい。</li> <li>・「ごあんない」は、紙ベース以外にも、ホームページでダウンロード出来る等、電子媒体もあるといい、という意見もあった。</li> <li>・「障害」の「害」を「がい」にするなど文言等表記については、市と調整する必要もある。</li> <li>・サービス提供や、対応の難しい相談例示も出ているが、部会として、その先の展開も見据えて掲載するのか。</li> <li>・例示に対して回答を表記していないのは、日々悩んでいることを、遠慮なく相談してほしいという思いから。すべての相談に対し、100%の解決は難しいし、サービス提供できるとも思っていない。でも、困っていたら、一人で悩んでいないで、相談できる場所もある、ということPRするのが目的。</li> <li>・主訴と実際の困りぐあいが違うこともあるので、これでいいと思う。</li> <li>・これを配布する時には、事業所への説明も必要。</li> <li>・作成後は、相談支援事業所と行政窓口配布。学校や公民館に置くのかは、まだ議論できていない。</li> <li>・成年後見制度に関する例示も入れると良い。</li> </ul>

( 2 ) Bグループ「相談支援の質の向上」

- ・ 3か月のワーキングの結果、相談支援の質の向上のためには、「スキル」「知識」「情報・人脈・連携」の3つのキーポイントが明らかになったと思う。
- ・ まず、個々の相談支援のスキルアップを目指すためには、研修情報の集約システムが有効ではないか。
- ・ 方法としては、インターネットのホームページで集約する。相模原版WAM - NETの構想が出たが、課題もある。
- ・ 医療、雇用、行政、教育等、分野を超えた情報収集をして発信できるといい。
- ・ ホームページだけでなく、紙ベースで、窓口のラックを利用することも有効な手段。福祉事務所に研修情報コーナーを作ることはすぐできるのではないか。
- ・ ネットワークの件で、モデル事業的なことをやれないか、という話があったがどうなったか。
- ・ モデル事業については、まだ、具体的な話が出来ていない。来年度以降の取り組みとして、部会で検討していければと思う。
- ・ シンポジウムでも適正規模の話が出た。他の部会でも、それぞれにネットワークの必要性を考えているようなので、それとどう整合をとるか。また、政令指定都市移行の関係もあるので、その動きを見てから検討をしないと、現実とかけ離れたものになってしまう。
- ・ Bグループに関しては、まだ結論が出ているわけではないので、全体会では中間報告となる。
- ・ 地域性を考慮したネットワークづくりは大きな課題。来年度以降も、部会で検討していく必要がある。

2 個別支援会議開催の報告（別紙）

3 平成22年度活動計画（案）

4 事務連絡

以 上